

学び舎通信 9月号

町内小中学校の情報を毎月お届けします



大 小

勉強いっぱい「夏休み学習会」

7月21日〜24日の4日間、3〜6年生の希望者を対象にした「夏休み学習会」を行いました。学習会は、全職員が指導に当たりました。児童は、算数の計算問題や応用的な問題に熱心に取り組み、「算数がとても分かるようになりました」という声がたくさん聞かれました。児童も教職員も、満足感のある充実した学習会になりました。



南 小

桜寿苑夏まつりで南小ソーラン!

7月下旬開催の桜寿苑夏まつりに、南小3・4年生が招かれました。夏休み中にも関わらず50人以上の児童が参加し、そのオープニングで南小ソーランを披露しました。櫓を囲んで元気に踊る児童の様子からアンコールの声がかかるなど、地域やお年寄りの皆さんに喜んでいただけました。その後は出店などで交流し、夏のひとときを楽しみました。



全 小

音楽朝会

7月14日に全校で音楽朝会を行いました。今回の音楽朝会は上学年(4年生〜6年生)が日頃の音楽の学習の成果として発表しました。金ヶ瀬小学校では朝会の時に全校で校歌や児童会の歌を歌うことになっていますが、普段聴くことのない学年の合奏や歌を聴き、先生がたや子どもたちもとても感動していました。学級の歌や学年の歌など日頃から歌っている金ヶ瀬小学校の子どもたちです。心に響く歌声が全校で花開くようこれからも続けていきたいと思えます。2月には下学年(1年生〜3年生)の音楽朝会が予定されています。



大 中

上谷1区中学生ボランティア

8月5日午後4時から一人暮らしのご老人宅の除草作業を実施しました。昨年度より実施していますが、今年は6人の中学生が手を挙げ参加しました。今後草取りや災害発生時のご老人の支援、大雪の時の雪かき等、支援活動を継続していく予定です。

祝 東北大会出場 (8/7~9 山形県天童市)
陸上 男子1500m 3年 高橋力斗

祝 東北大会出場 (8/7~9 岩手県盛岡市)
水泳 女子200m平泳ぎ 2年 武山紗弥

祝 県吹奏楽コンクール3年連続出場
金ヶ瀬中学校吹奏楽部

全 中

金中の熱い夏

今年の中学校総合体育大会東北大会に、陸上男子1500mに高橋力斗君(3年)、水泳200m平泳ぎに武山紗弥さん(2年)が出場しました。二人とも宮城県代表として堂々とした勇姿でした。さらに、吹奏楽部も仙南地区コンクールで金賞に輝き、3年連続県大会出場を成し遂げました。小さな学校の大きな快挙に、学校全体が歓喜に沸いたと同時に、他の生徒たちは「私たちもやるぞ」と誇りと自信をもちました。また、8月8日には、体育館新築工事の安全祈願祭が行われました。金中の今年の夏休みは、例年より熱い熱い夏となりました。

17 「秋になく? 虫」

身近な自然再発見
…人間と共生する昆虫たち…

▶ エンマコオロギの顔

秋が深まるにつれ、庭で鳴く虫の声がひときわ心にしみますね。まだく虫の音に四季の風情を感じるのは世界中でも日本人だけだとか。

日本では古くから鳴く虫との付き合いが始まっています。奈良時代は鳴く虫がどれもみな蟋蟀(コオロギ)と書かれていました。でも、平安時代にはスズムシやマツムシなどが今と同じ名前で和歌集や源氏物語に登場しています。

江戸時代には鳴く虫の人氣が高まり、町中のあちこちで虫売り屋の音がにぎやかに響いていたそうです。庶民も虫を愛でる余裕が有った証拠でしょう。

この季節、町内のあちこちで「スイーチョン」や「コッココ

リー」などと虫たちが甘い恋のメロディを奏でていきます。子ども時は思わず草むらに踏み込んで鳴き声の主を探したものです。今では虫たちの恋路を邪魔せずに聞き耳を立てるだけで我慢しています。これが大人の対応ですよ。

エンマコオロギは地獄の閻魔大王にあやかっつつけられた名前です。こんなこわそうな名前でも、メスがオスの言いなりになるとは限りません。下手な鳴き方だとメスが近寄ってこないのです。オスは子孫が残せないので大問題です。

楽しそうに鳴いていても、中には振られっぱなしで必死に鳴いて、いや泣いているオスも居るのかも。

秋の夜長、楽しげに鳴く虫たちもその陰では厳しい生存競争を闘っているわけです。そんな虫の姿と今日も一日がんばった自分を重ね合わせて一献かたむけるのも秋ならではのお楽しみではないでしょうか。

次回は北限のミヤマシジミにまつわる話を紹介します。

元 金小校長、昆虫教室(町教育委員会主催)講師 鈴木健司さん